

—民数記6章・22-27、ガラテア4章・4-7、ルカ2章・16-21

主はモーセに仰せになった。アロンとその子らに言いなさい。あなたたちはイスラエルの人々を祝福して、次のように言いなさい。主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らし／あなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けて／あなたに平安を賜るように。彼らがわたしの名をイスラエルの人々の上に置くととき、わたしは彼らを祝福するであろう。—民数記6章—

## 神の母聖マリア 「母に守られて」

主の降誕と新年おめで  
とございませす。

今日、降誕祭から数え  
て8日目である1月1日  
は、昔から幼子と母マリ  
アを祝う祝日とされてき  
ました。

元旦にマリアさまのと  
りなしを願って、世界を  
神に奉げるのは誠にふさ  
わしい祭日なのです。イ  
エスの母は人類の母とし  
て、わが子たちの幸せと  
平和を誰よりも願ってお  
られる方であり、神の母  
として私たちにとって救  
いに至る恵みの泉だから  
です。このマリアを「神  
の母」として祝うのは、  
人間の発意ではなく、主  
イエスご自身からの願い  
であり恵みなのです。

ところが、5世紀、コンス  
タンチノーブルの総大司  
教ネストリウスは、主キリ

ストを、全く違う二つの本  
質(神と人間)が全全く違う  
二つの本質(神と人間)が全  
くかけ離れたものと捉え、  
従って、神の子が苦しむこ  
と、マリアが神の母である  
ことはあり得ないと主張  
したことから、これが大問  
題となって、第3回エフェ  
ソ公会議が開催されまし  
た。結果、キリストは、真  
の神であり、真の人間であ  
ると再確認し、マリアは人  
間としてのキリストの母  
であり、同時にキリストは  
神なので、マリアは神の母  
と呼ばなければならぬと  
宣言されたのです。

神がお造りになったも  
ので「いのち」は「最も  
貧しい」ものでした。大  
切にされないでは人間に  
なれないからです。

神がこの世においてに  
なる時に、この「最も貧  
しい「いのち」となるこ  
とを選択された」事と、  
そのため、「母親にマリア

を用いられた」この二つ  
の事実は軽視できない神  
のみ心なのです。

マリアから「いのち」  
を受けたイエスは、使命  
を終えた母をカッコウ鳥  
のように見捨てて父のも  
とへ羽ばたいて去る方  
ではなく、永遠に御母と  
して尊び、私たちにも尊  
んで、母から教えを乞う  
て恵みを戴くよう願われ  
た神だからです。

マリアから「いのち」  
を受けたイエスは、使命  
を終えた母をカッコウ鳥  
のように見捨てて父のも  
とへ羽ばたいて去る方  
ではなく、永遠に御母と  
して尊び、私たちにも尊  
んで、母から教えを乞う  
て恵みを戴くよう願われ  
た神だからです。

自らの貧しさを知り、  
人間の思惑であるへたな  
哲学と世の合理主義を排  
するならば、マリアを尊  
ぶ行為が「神の救いの価  
値を薄める信心行」など

と突き放す精神性を生じ  
させないで、誰もがイエ  
スと同じように、イエス  
の母に養われ、守られる  
ことを願うでしょう。イ  
エスと母マリアのみ心は  
一つなのですから。  
幼子と私たちにとって  
母親は全てです。

今日、我が家と世界が、  
母マリアさまに守られて  
平和な一年となりますよ  
う祈りましょう。

2023年1月1日

主任司祭 昌川信雄



画：昌川神父